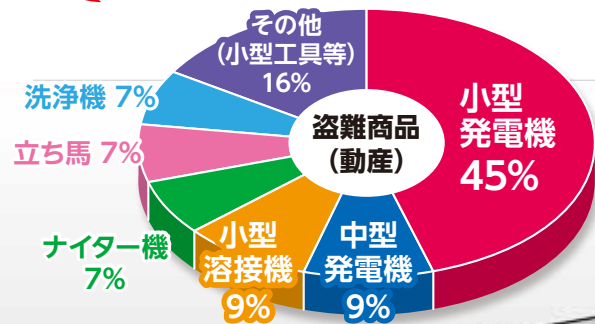


盗難防止対策

グラフは、2019年4月から2020年3月にかけて、盗難被害に遭った弊社商品の割合を表したものです。小型発電機をはじめエンジンものが多いことがわかります。以下の対策例を参考に、盗難被害を未然に防止しましょう。

こんなものが狙われています！

※参考：弊社のレンタル品における被害状況データ



防犯機器の設置

- 警報器
- 防犯カメラ
- センサーライト

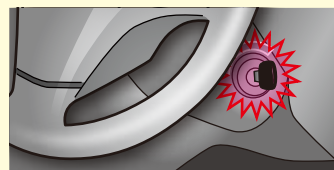
工具類は物置へ

- 工具類は無くなった場合すぐわかるよう整理して収納する



車両・機械への対策

- 確実にキーを抜く
- イモビライザーを装備



- バッテリーを取り外すなどエンジンがかからない措置をする
- アウトリガを張り出して駐車する
- タイヤロック、ハンドルロックをする

第三者の立入禁止措置

- ガードマン等による現場巡回の実施
- 門扉の内側にアウトリガ付きの車両を置く
- 防犯センサーの設置



～不審者を見かけたり被害にあった場合は直ちに警察に通報しましょう～



7月7日は乾麺・そうめんの日です。暑くなるとよく食べますが、そうめん・ひやむぎ・うどんの違いをご存知ですか？小麦粉を塩水で練って“生地”を作り、油を塗りながら細く伸ばす麺が「そうめん」。麺棒を使って生地を薄く延ばし、刃物で細く切る麺が「ひやむぎ」「うどん」です。消費者庁の乾めん類品質表示基準では麺の直径が1.7mm未満を「ひやむぎ」、1.7mm以上を「うどん」というそうです。



レンタルのニッケン

ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。

レンタルのニッケン

検索

メルマガ配信中！

安全ニュースで取り上げて欲しい題材やご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください

e-mail: nikken@rental.co.jp

安全ニュースのご活用についてお願い

- 弊社は皆様の、安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、安全ニュースの製作・配布に取り組んでおります。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。
- 安全ニュースの一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先（各種団体など）の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・複製・複製・貸貸・加工・加筆および、公衆送信（インターネットやそれに類した送信）などを利用して提供することを禁じております。
 - 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
 - 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

K

安全運転アドバイス掲載中！

関係会社 エヌエスサービス株式会社では安全運転に関する情報をホームページにて掲載中。安全運転の推進活動などにお役立てください！



安全ニュース

● レンタルのニッケン

—Safety News—

2020年
7月号
NO.
223

株式会社レンタルのニッケン

編集・発行

安全技術部／営業企画部

お問い合わせ

TEL.03-5512-7411

発行日

2020年7月1日



特集 重機械災害（クレーン・ショベル・高所作業車）

● 建設業における死亡災害（2018年）

● クレーン・高所作業車事故事例

● 事故を防ぐために

● 盗難防止対策

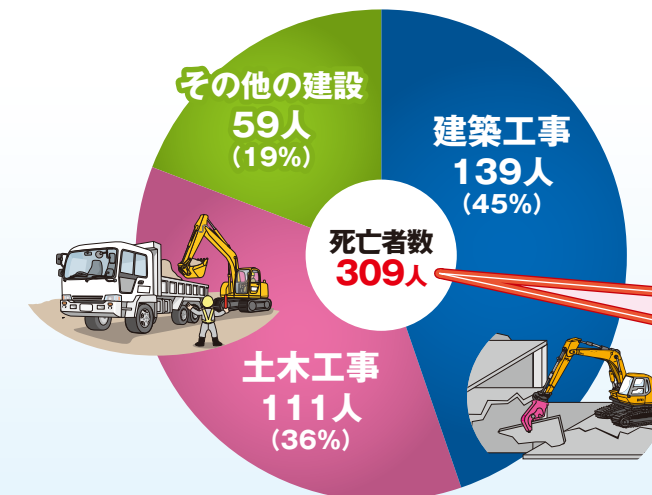
2020年
8月号の予告

電気使用
安全月間

建設業における死亡災害（2018年）

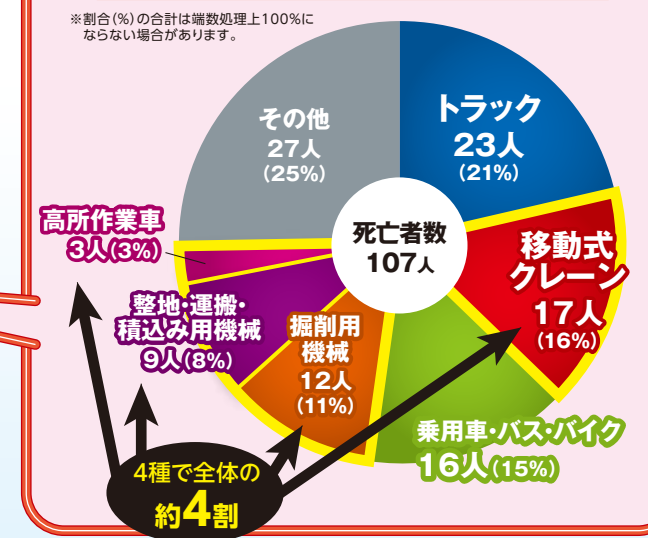
※参考：「労働災害統計」（厚生労働省）（<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.htm>）を加工して作成。

工事の種類別発生状況

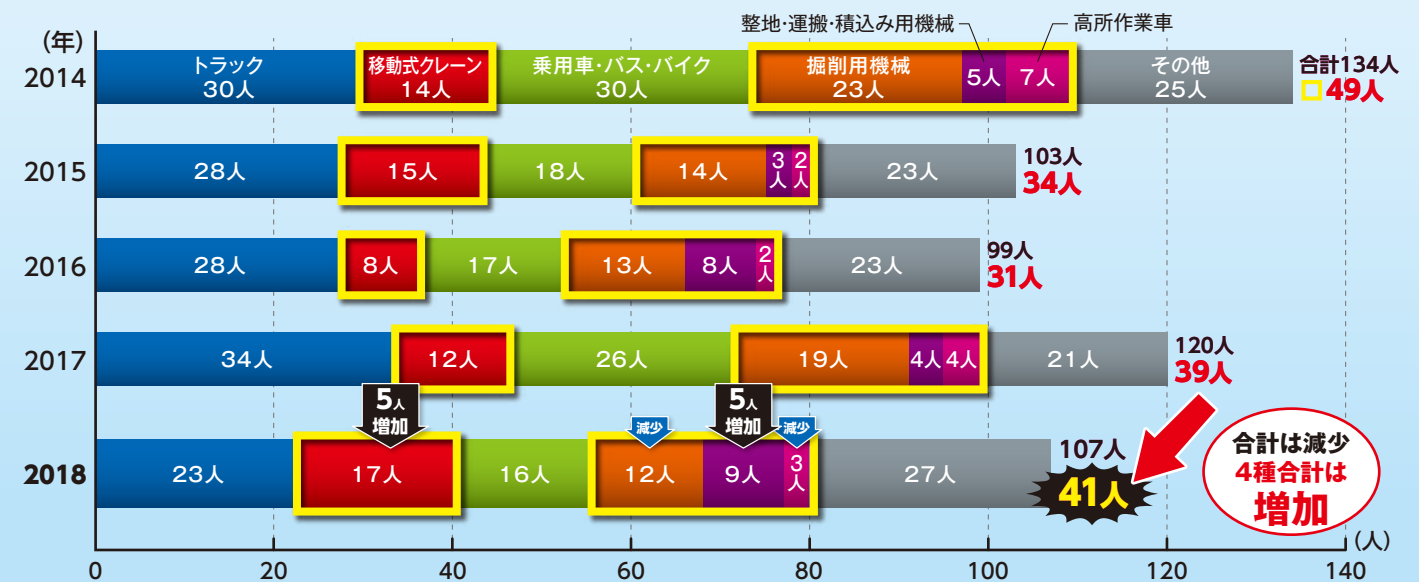


建設機械・クレーン等災害

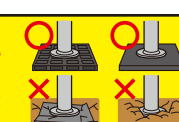
※割合（%）の合計は端数処理上100%にならない場合があります。



建設機械・クレーン等災害 過去5年の災害推移



今月のベからず
傾斜地や軟弱な地盤の上に設置するべからず
クレーン又は高所作業車などは、傾斜地や軟弱な地盤にて使用すると車体が傾いたり転倒する恐れがあります。必ず水平堅土な場所に設置して使用してください。



注意！
1. やむを得ず軟弱な地盤に設置するときは、転倒を防止するために十分な強度と大きさの敷板や鉄板などを敷いて安全を確保してください。
2. アウトリガの張り出し幅が小さいと安定性が悪くなり、作業半径が減少するだけでなく、転倒の原因となりますのでアウトリガは最大に張り出してください。アウトリガを張り出したときは、必ずロック装置で固定してください。

★ ホームページにも掲載しております！是非ご覧ください。★

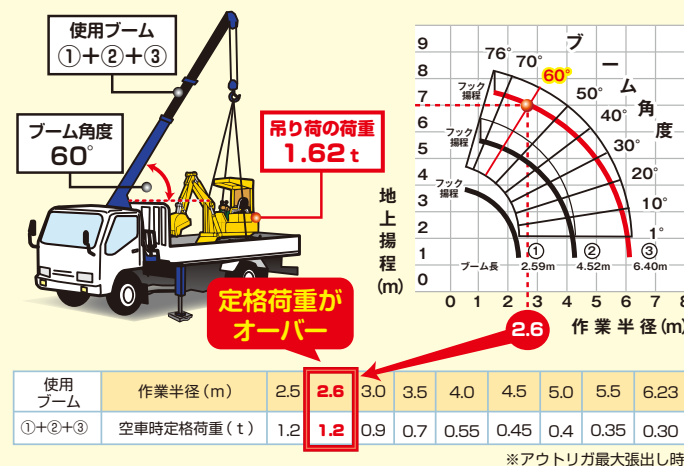
クレーン・高所作業車事故事例

クレーン付トラックにて、定格荷重を超える作業範囲で荷物を吊り旋回しようとした際、バランスを崩し横転!

- ◆機械の能力、作業場所の広さ、地形、地質の状態等を把握し、作業に適した計画を定め、実行する。
- ◆荷おろしする側で操作をしない。
- ◆荷を移動する際は、できるだけ地面の近くまでおろし、行う。



事故発生時の状況



事故を防ぐために

※提供元:コベルコ建機株式会社 様

危険を予知しよう

砂防ダムの改修工事において、作業者が稼働中のショベルとコンクリート擁壁の間を通り抜けようとしています。

作業者が擁壁の間を通り抜けようとしたとき、旋回したショベルのカウンターウエイトと擁壁の間に挟まれてしまった。



1. 作業半径内は立入禁止の措置を行う。
2. 作業者の安全通路を確保する。やむを得ず作業半径内に立ち入るときは誘導者に声を掛け、合図に従う。
3. 運転者は稼働前に必ず前後左右の確認を行う。

事故を防ぐ機器・システム紹介

人や障害物を検知して自動で減速・停止 K-EYE PRO衝突軽減システム

※提供元:コベルコ建機株式会社 様

■旋回や後進または走行時に死角エリアで人や障害物を検知した場合、ディスプレイ表示とアラームでのお知らせに加えて、自動的に減速・停止する機能が搭載されています。



制動イメージ

旋回時



後進時または走行時



トラボン太 -危険作業エリア警報システム-

■重機の死角エリアに取付けたセンサーに作業者が接近すると、オペレータと作業者の双方に警報を発する危険防止システムです。



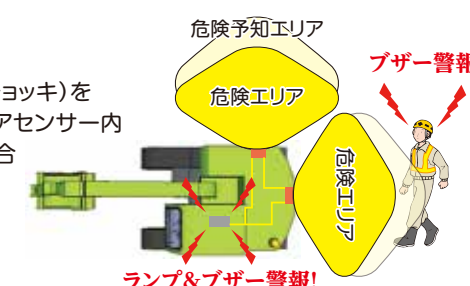
本体(警報機・エリアセンサー)



レスポンス

システムイメージ

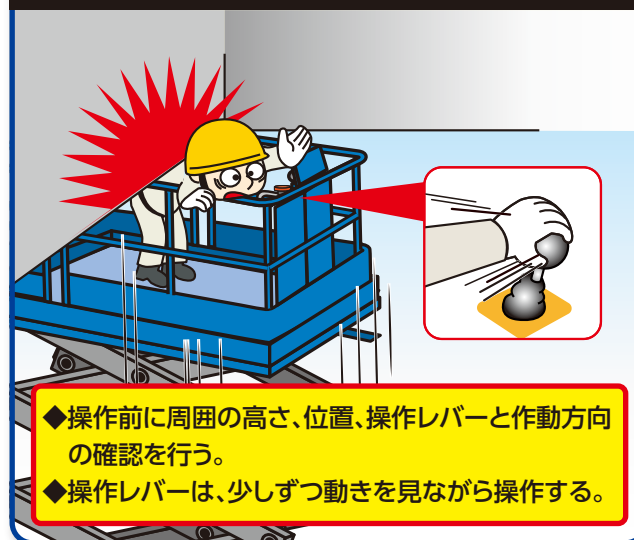
レスポンス(チョッキ)を着た人がエリアセンサー内に侵入した場合



- ①重機車両の死角エリアを超音波センサーでカバー。
- ②危険作業エリア侵入を重機オペレータと作業者双方に直接警報。
- ③警報装置及びセンサーはマグネット仕様で簡易取付け・取外しが可能。
- ④電源はDC24V・12Vシガーライターソケットに対応。

- ★危険エリア:3、4、5、6、8、10mの中から選択。(エリア内で運転者と作業者の両方に警報)
- ★危険予知エリア:1、2、3mの中から選択。(エリア内の作業者に対してのみ警報)

誤って上昇操作をし上部の鉄骨梁と高所作業車の手摺に首を挟まれた。



養生ベニヤの上で作業していたところ、養生ベニヤが重さに耐えきれず破損し、作業車がバランスを保てず転倒。



注意!「規制解除」は絶対しない!!

走行規制の解除を「細工」するのは、大変危険ですので絶対にやめましょう!

悪い例:作業床格納検知用のリミットスイッチを針金やテープで固定。

上記規制を解除した状態で作業床を上昇させ走行操作を行うと、機械は作業床が格納されていると検知しているため、高速走行となり始動時、又は終点時の動揺等による反動で横転するといった事態を招きます。